「立花容器の森」

植栽活動報告

木とともに・・・

当社は大正４年に「立花製樽所」として、倉敷市玉島で創業し創業１０９年になります。創業当初から木製の樽や桶を製造しており、１００年を超える時を木と共に歩んできました。そこで、原点である木を「使わせていただく」替わりに「育てる」お手伝いをしたいと考え、森林再生に少しでも貢献できるよう取り組んでいます。２０００年に“ＩＳＯ１４００１”の認証を取得して以来、森づくり活動を行って今年で25年目となります。２０１０年に「企業との協働の森づくり事業」に賛同し、本社のある矢掛町の森を豊かにしたいという思いから、矢掛町の町有地である高妻山の亀島キャンプ場周辺の０.５ｈａの土地を「立花容器の森」としてお借りし、２０２０年にこの協定を１０年延長し、２０３０年まで活動を継続しています。

ヤマザクラやイロハモミジ・ヤマモモなどの苗木を植樹し、これらの苗木が元気に育つよう現在では、社員・家族と一緒に下草刈を行っています。地域住民の方々の憩いの場でもあるキャンプ場の入口でもあるので、景観が損なわれないよう彩ある広葉樹の木々を育てることで、企業の社会貢献を目指しています。環境保護活動として、元気な森を育てることで二酸化炭素の吸収量が増え、排出量の削減に繋がっていくよう今後も継続的に活動を行っていきます。

「立花容器の森」活動報告

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
植栽	390本	390本	300本	300本	9本	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
下刈草	0.1ha	0.2ha	0.3ha	0.4ha	0.5ha	0,5ha	0,5ha	0,5ha	0,5ha	0,5ha	0,5ha	0,5ha	0.5ha
Co2吸収量（ｔ-Co2/年）	0.78	1.18	1.58	1.98	2.03	2.07	2.11	2.09	2.13	2.34	2.52	2.72	ー
活動人数(述べ)	122名	155名	145名	99名	168名	88名	84名	82名	84名	102名	73名	67名	69名

ＳＤＧｓへの取り組み

森でリフレッシュ
森林が安らぎの場であることから、森林浴や森遊びの提案を行います
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進します

ごみを資源に
今まで廃棄するしかなかった樹脂ごみのリペレット事業に取り組みます
強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図ります

森林保護活動
苗木コンテナー等の商品開発と会社ぐるみの植栽活動により森林保護活動に貢献します
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止します

森の出張授業
桶樽の製造技術を使った楽器作りや木製パズルでの遊びを提供します
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進します

ゼロエミッション
無駄の削減と工場内リサイクルを推進し、ゼロエミッションを目指します
持続可能な生産消費形態を確保します

環境商品の開発
お客様に仮説を提案しながら、一体となって環境配慮商品を開発します
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化します

省エネ企業
省エネ設備や車両の導入と効率の良い生産、ロスの削減に努めます
すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保します

河川の清掃
地域とともに、生活ごみが蓄積していた溜川をきれいにしていきます
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用します

立花容器株式会社